

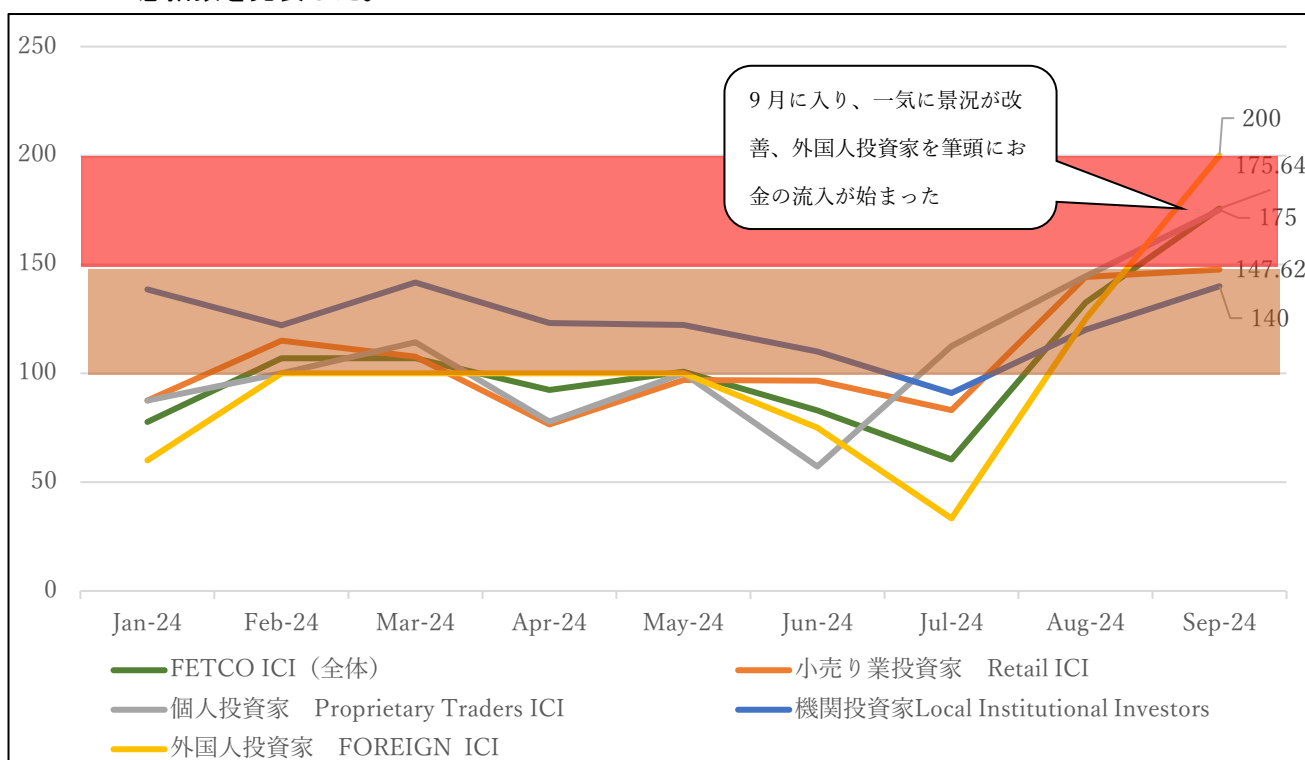
タイ経済指標斜め読み

(2024年10月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【指数データ：投資家指数】

タイ資本市場協会連盟（FETCO）は、9月に於ける向こう3ヶ月（12月）の投資家信頼感指数を発表した。



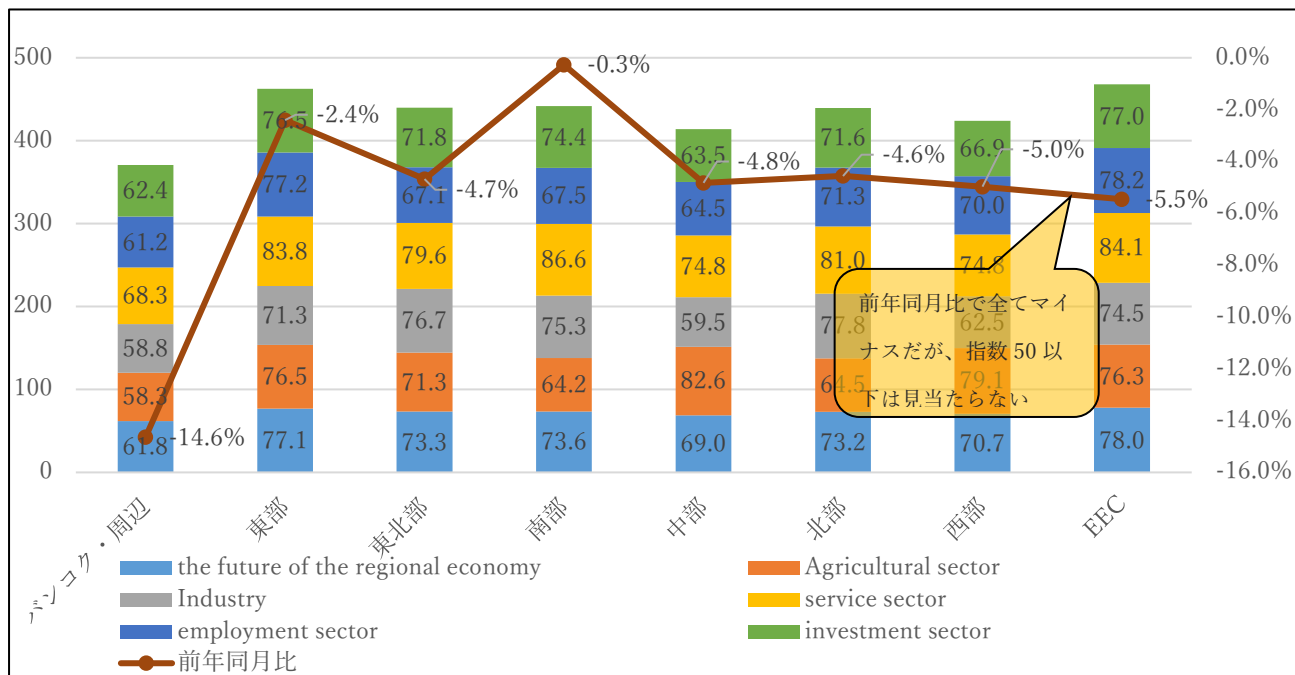
FETCO ICI 区分け：● (160 - 200) 大変力強い、● (120 - 159) 力強い、● (80 - 119) 中間、● (40 - 79) 弱い、● (0 - 39) 大変弱い

9月のFETCO指数は175となり、ここ数年で一番高い指数となった。要因として、海外からの資本流入（株式相場）、タイ政府の景気指標、FEDの利下げなど複数の要因が好走した。特に外国人投資家指数は200の大台にのり、非常に好意的にタイへの投資が行われている。一方、中東問題やパーツ高、国内政治の不安定さなど不安定要因も残る。

出所：<https://www.fetco.or.th>

2. 【指数データ：地方経済指数】

タイ財務省財政局（Fiscal Policy Office：FPO）は9月、今後6カ月間の予想地方経済指数（The future of the regional economy）を発表した。予想地方経済指数は5つの指数（産業、農業、雇用、投資、サービス）の平均値を示す。



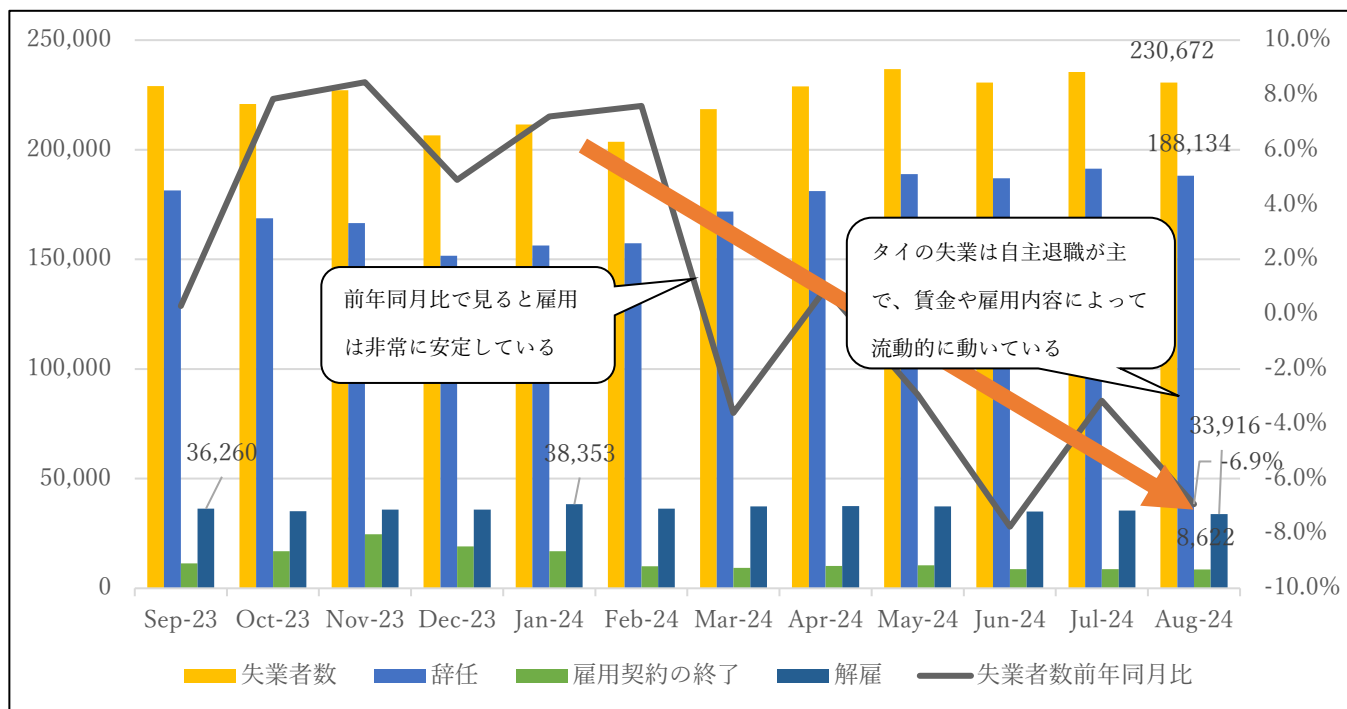
- ◆ 指数 > 50: 6ヶ月後の予測が「現在よりも良い」状況を示しています。
- ◆ 指数 < 50: 6ヶ月後の予測が「現在よりも悪い」状況、つまり経済が停滞する可能性を示しています。
- ◆ 指数 = 50: 6ヶ月後の予測が「現状維持」、経済がほぼ変わらないと見込まれていることを示しています。
- ◆ 前年同月比は、各地域指数の「the future of the regional economy」を基に算出しています。

9月の今後6カ月後の予想経済指数は、EECがトップで78.0ポイントを獲得した。次に東部の77.1ポイント、一番低い地域はバンコク・周辺で61.8ポイントとなった。次に、同指数に於ける前年同月比（2023年9月）では、全ての地域でマイナスとなった。特にバンコク・周辺地域が-14.6%となり、落ち込みが激しい。頼みの綱であるEECに於いても-5.5%で厳しい状況であると言える。とは言え、全ての項目で、「現在よりも良い」を示す指数である50以上を示しており、6カ月後の経済は、良くなると考えていることが伺える。

出所：<https://www.fpo.go.th/>

3. 【統計データ：失業者数】

タイ労働省雇用局（DOE）が発表した8月の失業者数ならびに前年同月比となる。失業者数のカウントは、第33条被保険者と毎月の失業手当を受給している被保険者数を対象としている。



8月の失業者数は230,672人、前年同月比で-6.9%となった。内訳は、辞任が188,134人、雇用契約の終了が8,622人、解雇が33,916人となった。全体的に失業者数は2月以降減少傾向を続けている。特に雇用契約の終了が低く抑えられているのが見て取れる。昨今、景気後退の影響で、物が売れない状況から製造業などへの影響が危惧されているが、企業の新規登録数は清算企業数を上回っている状況であるため、景気の良し悪しは別として、人材の確保が必要な状況と思われる。

出所：<https://www.doe.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2024 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。